



建築物総合環境計画概要書 新築

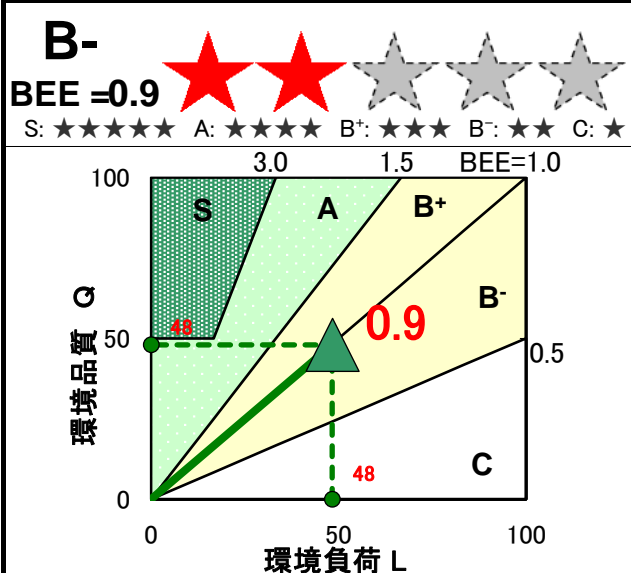
■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

1-1 建物概要

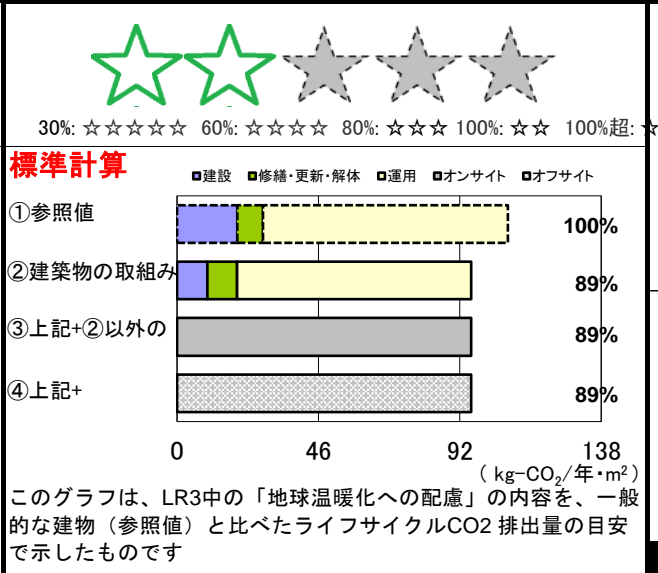
建物名称	プレジオ城東新築マンション計画		
建設地	城東区今福南3丁目		
建築用途	共同住宅		
建築主			
設計者			
敷地面積	2,569.48	m ²	
建築面積	640.42	m ²	
延床面積	6,564.21	m ²	
構造/階数	RC造	/	地上12階、地下1階
完了年(予定)	2026年6月		

1-2 外観

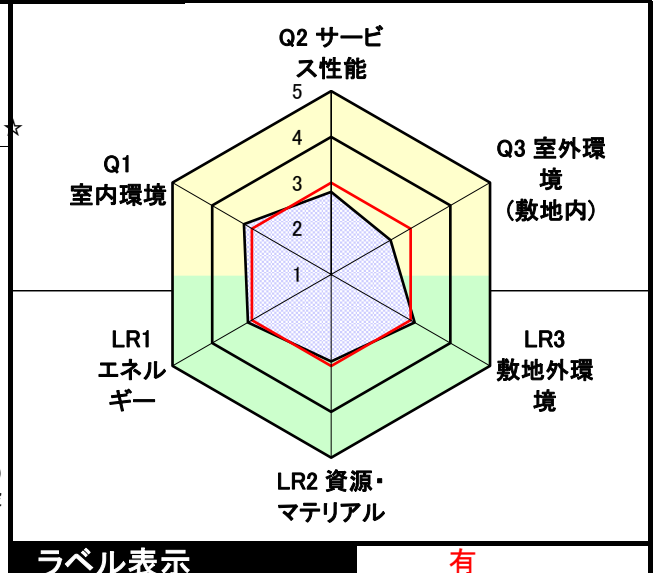
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

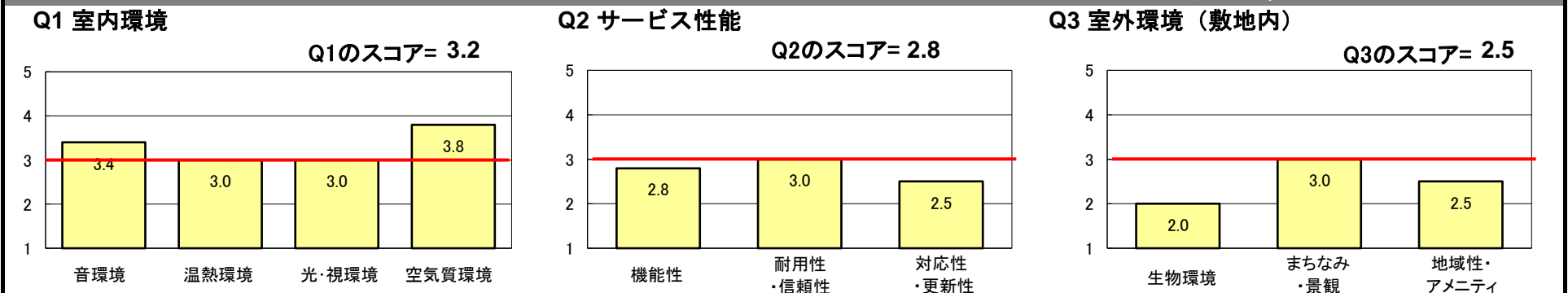


2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

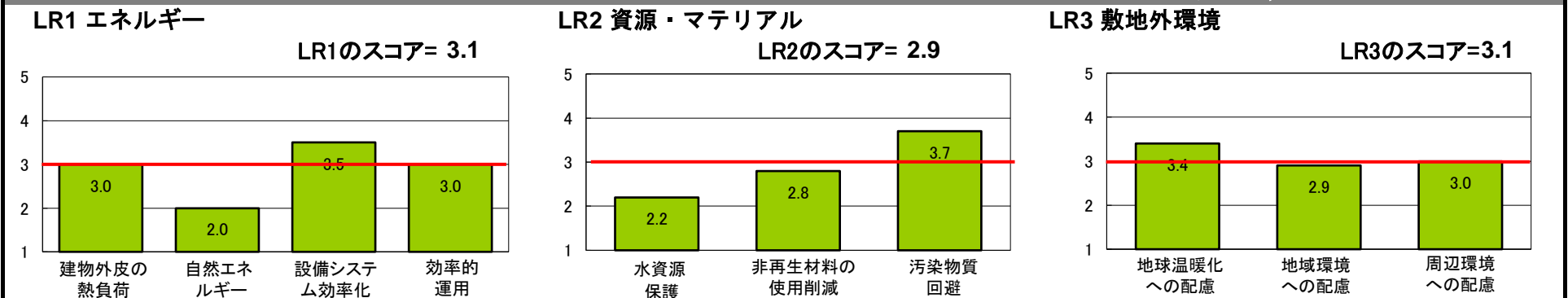


2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質



LR 環境負荷低減性



3 設計上の配慮事項

総合 周辺を行き交う人々の心地良い歩行者空間を提供すると共に、建築後退部分の広場を一体として緑豊かな空間づくりに努める。合わせて、和モダンな意匠で周辺環境とも調和するよう配慮した。		その他 なし
Q1 室内環境 化学汚染物質対策として、内装材及び取付接着剤は全てF☆☆☆☆を採用し、自然換気有効開口面積を大きく取り入れた。	Q2 サービス性能 仕上げ材、配管について、耐用年数の長いものを採用し耐用性を向上させた。	Q3 室外環境(敷地内) エントランス廻りの植栽や東西の高木、植栽により森を彷彿とさせるような空間づくりに努めた。
LR1 エネルギー 全住戸平均UA=0.83、平均BEI=0.95を達成。	LR2 資源・マテリアル 躯体と仕上げ材が容易に分別できるよう下地構造はGL工法、木下地とし、部材の再利用可能性向上に努めた。また、断熱材に吹付ウレタンフォームA種1H、冷媒にR32を使用することで、ハロン、フロン回避に努めた。	LR3 敷地外環境 適切な量の自転車置き場、駐車場を確保し、交通負荷制御に努めた。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 0.9

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.4 ライフサイクルCO2排出量が平均的な建物よりも低く抑えている
配慮事項	全体を比較して建設時のCO2排出量を低く抑えている。	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	2.0 外来種に対し適切な対応を行っている。
Q3 / 3 /3. 2/	敷地内温熱環境の向上	2.0 高木、低木をバランスよく配置している。
LR3/ 2 /2. 2/	温熱環境悪化の改善	3.0 地表面の被覆材に配慮している。
配慮事項	エントランス廻りの植栽や東西の高木や植栽により森を彷彿させるような空間づくりに努める。	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	3.0 平均UA値＝0.83達成
配慮事項	外壁等に吹付ウレタンフォームA種1Hを使用し断熱性能を向上させている。	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	3.5 平均BEI＝0.95達成
配慮事項	換気設備にDCモーター付きのものを採用しエネルギー削減に貢献している。	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	
--------	--

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
(基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分 (品確法等級)	非住宅部分[BEI][BEIm]
	等級3 (相当)	-
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEIm]	住宅部分[BEI]
	0.95	0.95
		非住宅部分[BEI][BEIm]
		-